

## 令和元年度第2回静岡県入札監視委員会議事概要

- 1 開催日時及び場所 令和元年11月29日(金)13時30分～15時45分  
県庁別館9階 特別第2会議室
  
- 2 出席者 委員長 寒竹伸一 (静岡文化芸術大学大学院教授)  
委員長代理 田中博道 (東海大学海洋学部名誉教授)  
委員 中山美砂 ((株)足立経営サポート代表取締役)  
山田夏子 (公認会計士)  
  
県説明員等 宮尾交通基盤部長、前島交通基盤部部長代理、長縄交通基盤部理事、長田交通基盤部参事 等  
事務局 鈴木建設支援局長、井口建設業課長、廣瀬建設技術企画課長 等
  
- 3 議事概要
  - (1) 入札・契約手続の運用状況の報告  
平成31年4月1日～令和元年9月30日に県が発注した工事の入札・契約手続の運用状況等について、県から報告を受け、質疑を行った。
  
  - (2) 抽出事案に関する説明及び審議  
委員が抽出した下記の5事案について、県から経過等の説明を受け、質疑を行った。(主な質疑は、別紙のとおり。)  
(抽出事案)
    - ・ 令和元年度中山間総合(中山間・一般)足柄金時地区ほ場1工事
    - ・ 令和元年度[第31-Z1141-01号]ふじのくに地球環境史ミュージアム西棟他屋上防水改修工事
    - ・ 令和元年度[第30-D0905-01号](国)469号社会資本整備総合交付金(国道道路改築)工事(道路工その3)
    - ・ 令和元年度[第31-D5589-01号](一)掛川袋井線「暮らしを守る道」緊急対策H(交通安全)工事(側溝工)【11-01】
    - ・ 令和元年度[第31-D7281-01号](国)301号防災・安全交付金(橋梁耐震対策)工事(西浜名橋耐震補強工)
  
  - (3) 審議の結果  
抽出事案に係る入札及び契約手続きについて、意見の具申及び勧告はなかった。

質 疑	応 答
<p><b>① 令和元年度中山間総合（中山間・一般）足柄金時地区ほ場1工事</b> [経済産業部頭部農林事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度中山間総合（中山間・一般）足柄金時地区ほ場2工事が類似工事として発注されているが、両工事の受注者で仕事を分け合っているおそれは無いか。</li> <li>応札者の工事費内訳書で、直接工事費が同額な者が3者おり、これはあり得ることなのか。</li> </ul>	<p>両工事とも、1回目入札、2回目入札ともに複数の応札者がおり、競争が行われているため、そのおそれは無いと考える。</p> <p>本工事に関わる資材、機械などは単価、歩掛かりが公表されており、工種も少ない工事であるため、精度の高い積算が可能であったと考えられる。</p>
<p><b>② 令和元年度 [第31-Z1141-01号] ふじのくに地球環境史ミュージアム西棟他屋上防水改修工事</b> [交通基盤部営繕工事課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南棟と西棟を同時発注しており、施工面積が西棟の方が広いのにも関わらず、施工金額の内訳が逆転している業者が1者いるが、これはどういうことが要因か。</li> <li>入札額が低い業者がいるが、安全性などは大丈夫か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南棟には太陽光パネルの基礎部分があるなど、施工の手間が単純に施工面積に応じるものでないこと、また当該業者が塗装の専門業者であり、西棟のウレタン塗膜防水についてコスト面で優位性があったことが要因と考えられる。</li> <li>内訳を分析すると、共通費や一般管理費の削減に努めている一方、直接工事費は県の積算額を超えており、決して低い額では無いと判断している。</li> </ul>
<p><b>③ 令和元年度 [第30-D0905-01号] (国)469号社会資本整備総合交付金(国道道路改築)工事(道路工その3)</b> [交通基盤部沼津土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落札率が高かったのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイパスの新設工事のため、現道の影響を受けないものとして、通常の道路拡幅工事に比べると安い積算となっている一方、現場が市道に挟まれていること、近隣で国道138号、新東名の工事が行われており、施工条件</li> </ul>

質 疑	応 答
<p>④ 令和元年度 [第31-D5589-01号] (一) 掛川袋井線「暮らしを守る道」緊急対策H (交通安全) 工事 (側溝工) 【11-01】 [交通基盤部袋井土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加者が多いにも関わらず、落札率がほぼ100%であるが、これは積算が容易な工事であったということか。</li> <li>住宅の状況や、交通量などの情報は事前に分かるはずだが、県の積算価格に盛り込んではいないのか。</li> </ul>	<p>の解釈について応札者と差が出たのではないかと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単純な工事であるため、積算が容易で予定価格を予想しやすかった一方、現場が住宅密集地で近隣との調整が必要なこと、資材スペースなども限られていることから、高めに応札したものと考えられる。</li> <li>本件工事については、交通掛け率はあったものの、DID地区には入らない場所で、密集地分の掛け率が無かったため、応札者とコストが合わなかったと考えられる。</li> </ul>
<p>⑤ 令和元年度 [第31-D7281-01号] (国) 301号防災・安全交付金 (橋梁耐震対策) 工事 (西浜名橋耐震補強工) [交通基盤部浜松土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予定価格が低かったのではないかと思われるが、現場条件はどうだったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業手順が定型化された工事で利益を生み出す工夫ができないこと、カキ・ノリの養殖場が近いこと工期が限られ、また、周辺を漁船等がかなり往来するなど、現場条件は非常に厳しい工事である。</li> </ul>